



〒780-8014 高知市塩屋崎町1丁目1-10 TEL (088)833-4394 FAX (088)833-7373 <https://www.tosaobog.com>



新旧校長先生の歡送迎会にて 2023(令和5)年3月13日(左 濱田一志氏 右 小村彰氏)



## 校長就任のご挨拶

第十代 学校長

濱田 一志(58回生)

本年4月に校長に就任いたしました濱田一志です。昭和39年(1964年)春野町生まれ、江陽小、城東中、土佐高(58回生)、東大、新日鉄、学習塾経営、東大野球部監督を経験し、校長が4つ目の仕事になります。3年前に前任の小村校長からお話をいただき、学校現場を知らない私で務まるだろうかと思いましたが、母校にそして高知県に恩返しという決意をもって引き受けることにしました。

私の責務で最も大きいものは「少子化時代の舵取り」です。40年前と比べて子供の人口が半分になっているため、定員を維持しようとするれば学力レベルは下がり、学力レベルを維持しようとするれば定員割れになってしまいます。何とか学力と定員を両立する方法はないだろうか。これが舵取りの中身です。

土佐校の良さは「リアル文武両道」です。リアルとは、進学クラスとスポーツクラスを分けて文武分業をするのではなく、進学の授業を受けながら部活と両立するという意味です。土佐高としては当たり前なことですが全国的には珍しいのです。舵取りの第一歩は、この良さを全国に発信していくことだと考えています。

私はまだまだ駆け出しの1年生校長です。学校現場をよく観て、生徒、教員、保護者、同窓会といった多様な目線からの意見を耳を傾けていきたいと思っております。そして、土佐高のPR、生徒が文武両道に打ち込める環境整備をしていきます。

今後とも同窓生各位からのご指導ご鞭撻をお願いし、就任のご挨拶とさせていただきます。

# 2023-ホーム-カミング-デー

日時/令和5年8月12日(土) 14:00~

## 講演会

### 土佐って実はすごい学校なんです

～全国の私学では唯一リアルに文武両道を実践～

土佐中・高等学校 校長 濱田 一志 氏 (58回生)

会場いっぱいの同窓生が、今か今かと濱田新校長先生の話のを待っていました。土佐校が全国でも稀にみる「真の文武両道の学校」であることをグラフで示しつつ、「授業の内容も有名進学校に負けていない。それらは誇るべきことであり、全国に発信していくべきことだと思う。この“文武両道”という土佐ブランドは、少子化時代の舵取りに大きな力になっていくだろう。」との濱田校長の講演に一同納得。これからも、濱田新校長の下、益々の土佐校の発展に期待が高まりました。(編集部)



### おまえ、何でそこ行っただが？

医療法人社団緑友会理事長  
元JAXA宇宙飛行士健康管理責任者  
三木 猛生 氏 (63回生)

同級生の三木さんに貴重な講演をいただき、世の中には全然知らない世界が広がっていること、土佐の卒業生が世界で活躍している様子が感じられました。来年は、学校で開催できると良いですね。

(森澤友博-63回生)



### テレビ!?! 自分の心で 感じたことを大切にして…

テレビ高知代表取締役社長  
元TBSホールディングス代表取締役  
藤田 徹也 氏 (51回生)

以前勤めておられたTBSでのご経験を、貴重な映像と共にご講演くださった藤田氏。ホールいっぱいの同窓生が藤田氏の講演に聞き入っていました。当時の人気番組「ザ・ベストテン」のお話は、その時代を生きた先輩方には大変興味深かったことでしょう。

(松山芽生-93回生)



# 講演 & 試飲会

## 高知をワインの銘醸地に ～ありのままを誇れるまちに～



### よさ来いワイナリー代表 窪内 靖治 氏 (73回生)

老若男女問わず、80人位のワイン好きな人が集まり、熱心に講演を聴いていました。高知とワインはなかなか結びつかないですが、いろいろなお縁があり、高知にワイン文化を根付かせようとする窪内さんの熱意が素晴らしいです。皆さんワインの試飲まで、今か今かと待っている様子でした。(横山喬-73回生)



# クイズ

## 君は分かるか?! 土佐校先生クイズ

～複数のヒントから懐かしの先生を推理!  
最後には本人登場?!～



63回生山本先輩からの「ホームカミングを感じる企画がよいね」という一言から捻り出したこの83回生企画。同級生たちと、夜な夜な議論し、懐かしの先生たち(井上聖香先生、岡松宏明先生、松村誠先生)とも会うことができ、自分たちが一番楽しませてもらいました!(堅田和希-83回生)





ご出席の「3の会」の皆さん

## 大いに盛り上がったホテル開催のホームカミングデー

「3の会」実行委員長 安原 正司 (53回生)

コロナ禍を経てのホームカミングデーは、学校での開催は叶いませんでしたが、「ザ クラウンパレス新阪急高知」に300名近い同窓生が集結！プログラムは末尾が「3」の、93回生～53回生までの年齢差40歳のメンバーで実行委員会を重ねて、プログラムを作成して参りました。

総会の後、濱田新校長を皮切りに、51回生藤田氏・63回生三木氏の講演、73回生窪内氏のワインセミナー、更に参加型イベントとして83回生による「クイズ」を行いました。

そして、いよいよ待ちに待った「大懇親会」。82回生筒井氏(司会兼)によるライブ、よさこいチーム「陽」18期生によるよさこい演舞にて華々しく開宴いたしました。

お集まりの同窓生の皆さん…久しぶりに顔合わせした、恩師の先生方・同級生・先輩・後輩…盃を酌み交わし、昔話に、近況を…楽しく語り合う場。また、この大宴会には沢山の同窓生から様々な品をビンゴ景品として提供頂き、大いに盛り上がりました。この場をお借りして御礼申し上げます。そして、中締めの中には、学生服に身を包んだ応援団長横山氏(中身は63歳のお爺さん…笑い)の登場で、大いに盛り上がり、そして「3の会」から「4の会」への『バトン』いや『バット』の引継ぎも無事終え、懇親会は大盛況のうちに終了いたしました。来年も元気な姿で会いましょう！



「3の会」実行委員の皆さん

**来年のホームカミングデー 2024年8月17日(土)開催予定**



# 『ギザギザハートのアスペルガー』、書籍から舞台へ、そして2冊目の出版

白井志乃 (70回生)



1995年土佐高校卒業  
 1999年徳島文理大学薬学部卒業  
 調剤薬局、病院勤務を経て  
 2020年薬剤師専門人材紹介事業所  
 スウィッチ・エージェンシー設立  
 『ギザギザハートのアスペルガー』出版  
 2021年下司病院 非常勤薬剤師  
 2023年『jugged heart asperger』出版  
 『12階段狂詩曲(ラブソディ)』出版  
 舞台『ギザギザハートのアスペルガー』  
 上演予定

薬学部を卒業してから20年余り薬剤師の仕事をしてきた私が今、処女作『ギザギザハートのアスペルガー』の舞台上演に向けての準備や2作目『12階段狂詩曲(ラブソディ)』のプロモーションをしていることの不可思議をかみしめながら筆を走らせております。

## スクラップ&ビルドの 薬剤師時代

郡部の救急病院から高知市内の総合病院、精神科の病院へと転職を重ねました。県内で転職するたびに勤務先には土佐高OBの医師がいて、非常にかわいがっていたきました。新しいことに出会うと探究するタイプの好奇心旺盛な私は、土佐高のつながりを活かして様々な学びを先輩方から得ることができ、転職によりキャリアアップを重ねることができました。お世話になった先生方が読んでくださっていることを願い、ここに感謝申し上げます。

## 執筆ストーリーは突然に

2020年の夏、リーブ出版社の事務所に私はいました。ある青年の手記を出版したいと思いついたのです。薬剤師の仕事しかしたことのない私にとって出版業界は未知の世界でした。

「過酷な半生を生き抜いた青年の手記は貴重なものですが、この本は売れません。」と語気を強めていう社長に落胆しました。理由は辛すぎて読者は途中読むのをやめてしまう可能性があるからとのことでした。ところが事態は思ってもみない方向に進みます。すこすこ帰ろうとする私に社長の「ただし、あなたが解説を書けばこの本は売れます」という言葉。とっさに私は「はい。書きます」と答えたのでした。すかさず社長は「著者



▲アスペルガーの  
 青年の手記に解説  
 加筆し発行。  
 発達障害の  
 青年

はあくまで白井志乃です」と宣言し、私の執筆がスタートしたのです。

この時のチャレンジの萌芽は手記を書いたアスペルガーの青年との出会いでした。青年は精神科の「保護室」という暗い檻の中で一人、髪の毛をむしくり、発狂していました。その病院での出会いや様々な治療を通して徐々に回復していく青年と、私はいつしか関わりを持つようになりました。そして病院を退職する日「白井さんはここを辞めて、なにかしでかしそうな気がするの。その時は必ず僕に声をかけてください」と言ってくれたのです。退職から3ヵ月目にその言葉を思い出し、知人の勧めでもあった発達障害のシンポジウムに二人で登壇しようと思いついて電話をして交流が再開し

たのです。ところが、コロナ禍の暗雲が立ち込める中一向にシンポジウムの話は進展せず、しびれを切らした私は青年の手記を出版しようという発想に至ったのです。

## デハラファイギアを表紙カバーに

表紙を考える段階に入り表紙カバーは是非ともデハラユキノリ氏(68回生)にお願いしたいと思えました。精神科の患者は不気味であるという偏見を払拭するには、デハラユキノリしかない。デハラユキノリは不気味を素敵に変えられる人だと思えました。

30年以上前になりましたが、中学一年の時に見たデハラ氏が作成した運動会のポスターは白黒のその気持ち悪い二次元の世界に生命の蠢きを感じるわけのわからない魅力がありました。風変わりなこの方が生徒会長で、ヘンテコリンな演説が全校放送で流されていた溶々たる気風と、この絵が運動会のポ

スターに採用されていたミステリーが『ギザギザハートのアスペルガー』の誕生のファクターとなっています。

発売後、高知新聞への度重なる掲載やNHKの密着取材の影響もあって、一か月で重版出来、Amazon新着ランキング1位、県内ベストセラー10週連続ランキング入り、2021年上半期金高堂総合ランキング10位ともしっかりもみない結果となりました。レビューには「人間失格のハッピーエンドのような感じ」や「スターウォーズの光と闇のような作品」といったドラマチックな展開に感動する声や当事者の思考をここまでつまびらかに描いたものはないと言った希少性を評価する声、当事者の共感の届き、青年と私は定期的に講演に呼ばれるようになりました。



▲フィギュア作家  
デハラユキノリ氏(68回生)と

### 舞台化までの道のり

そんな折、全く見知らぬ舞台脚本家の藤田ひさお氏から連絡があり、またもや事態は思ってもみない方向に進みます。『ギザギザハートのアスペル

ガー』の舞台化が決定したのです。アングラ感漂う下北沢のシアター711というディープな劇場で11月22日から26日まで開催する予定ですので、皆様ぜひお越しください。劇場でお待ちしております(^^)

### 薬剤師人材紹介事業立ち上げ

執筆を行っていた頃、早い話が無職である私は、収入の糧とするため、そしてキャリアを生かし高知県内の薬剤師不足を解消するため、薬剤師専門の人材紹介事業所を立ち上げようと思いつきました。個人事業主で厚生労働省の許可を得ることは至難の業でありましたが同級生の司法書士や先輩の不動産鑑定士のお力を借りてどうにか許可を得ることができました。そして県内の病院を営業で回るうちに人脈が広がり事業を継続し今に至っております。

### 英訳版を発売

ある日、『ギザギザハートのアスペルガー』翻訳するプロジェクトを立ち上げようと閃きました。プロジェクトと申しましたが、主人公の青年の親友(作品中にも登場するキーパーソン)にサクッと命令したのです。青年の親友はたまたま、英語・仏語はネイティブレベルでした。半年後に翻訳が完成し、あとはネイティブのチェックを受けるだけとなったのですが資金のない私たち

にボランティアでチェックしてくれようかな方はなかなか見つからず1年ほど温存させておりましたところ、ついに引き受けてくださる方が見つかり2023年3月『Jagged Heart aspergers』を発売いたしました。

### 広井護先生との二人三脚で 第二作目を出版

デハラ氏の個展で偶然にもお会いし本の感想をメールで頂いたのがきっかけで在学中には一度も接触のなかった広井先生との交流が始まりました。舞台化の報告と、主人公の青年を先生に合わせたく、昨年の秋にお会いする機会を頂きました。そこで私は次に依存症をテーマにした本を書きたいと先生に相談したのです。その足で南の風社に話を聞きに行った私はその場で出版することを決めました。



▲編集者の広井先生(右端)と南の風社・細迫社長(真ん中)と。2023年ホームカミングデーにて。

さらに私は編集を広井先生にどうしてもお願いしたいと切望し、広井先生を編集委員として二作目の出版に

こぎつけたのでした。医学の専門分野に関しては諸先輩方のご協力を承り、ついに今年8月に『12階段狂詩曲(ラプソディ)』を上梓することができました。この作品は依存症をテーマにした小説です。アルコール、ギャンブル、薬物、恋愛、性など各種依存症を取り上げ、人はなぜ依存するのか、好きと依存の境目はどこか等、その本質を追究しています。登場人物の生々しい描写、リアリティ溢れる情景に様々な感動のお声をいただいております。正直に申し上げますと、安定を捨て、未知の世界にチャレンジすることは不安や焦燥感に押しつぶされそうになった日もあります。

振り返ってみたら、この3年は非常に長い時間が経過したように思えます。これを私は時間を得たように思うのです。

ご覧のように、読めないスリルとサスペンスの私の人生、思いもかけなかったものを作り上げたことは土佐高ダイバーシティが生み出したイノベーションだと思っています。

土佐高の文化を生み、育み守り続けるOB、在校生そして先生方に深く感謝いたします。



▲新作  
『12階段狂詩曲(ラプソディ)』  
—2023年8月上梓



# 学校近況報告

学校長 濱田 一志 (58回生)

## コロナ前の活気が 戻ってきました

今年(2023年1月)卒業した98回生は「コロナで多くの制約を受けた、しかしその逆境があったからこそ私たちは成長できた」とコロナ禍を前向きに語り、卒業していきました。そんな98回生の気持ちに思いを寄せると、普通に学校生活を送れることのありがたみを感じずにはいられません。

その象徴が運動会ではないでしょうか。過去3年間は競技も来場者も大幅カットでしたが、今年はコロナ前と同じ規模で9月23日(土)に開催できました。前日の雨で準備が遅れましたが、高3生の頑張りで当日の朝やぐらが完成、騎馬戦や鯉の滝登りなどの名物競技も復活し観覧席は超満員でした。生徒たちにとっては見たこともない競技がたくさんあったので、競技の遅延や怪我人の増加を心配していましたが、ふたを開けてみれば杞憂に終わりました。定刻前に終了し、熱中症も怪我人も0人でした。危機感が逆

に入念な準備と団結を促したのではないかと思います。まさに「協力一致誓ひして」でした。生徒たちは運動会の準備、実行、後片付けを通じて、人間として成長したのではないかと思います。私自身は40年前の記憶しがなく、応援合戦やホームゲームは、もはやエンターテインメントの域だと感動しておりました。もちろん、活気を取り戻したのは運動会だけではありません。授業、クラスマッチ、部活動、海外研修など、イベントの参加者とその応援者にも笑顔が見え歓声が聞こえるようになりました。以下、これらの学事と進学実績を簡単に報告いたします。



▲2023運動会 開会式



▲2023運動会 騎馬戦

【海外研修】が復活し、8月2日〜7日シンガポール研修に20名、8月19日〜28日ニュージールランドに20名が参加しました。これらは現地の大学で様々な国の高校生と交流し、プレゼンテーションを



▲2023 シンガポール SF4H

【学校でのマスク着用】は、個人の裁量に任せています。高校生の7割、中学生の5割が外しており、読む、発表するという声出し授業が活性化しています。【クラスマッチ】は、中学5月20・21日、高校7月13・14日に学校グラ、新グラ、県民体育館にて行われ、応援も解禁されました。【高校部活動】について、高校運動部は四国大会出場17競技、インターハイ出場8競技(硬式テニス男女、バドミントン男、弓道男女、ハンドボール女、自転車、水泳)であり、中でも自転車部はスクラッチ個人で林君が全国5位入賞を果たしました。文化部は各部のコンサートや発表会が盛大に行われました。特に、放送部の横山君が鹿児島島総文アナウンス部門で審査員特別賞に輝きました。【中学運動部】は、四国大会に12競技(水泳男女、硬式テニス男女、ソフトテニス、ハンドボール男女、陸上男女、サッカー、弓道男女)が出場し、とくに水泳部は400mメドレーの個人、団体で全中出場も果たしました。



新任

久米 将裕  
新教頭(56回生)

久米将裕新教頭先生、今後共宜しくお願いします。



退任

岡松 宏明  
前教頭(51回生)

岡松宏明前教頭先生、長い間お疲れさまでした。先生が中心になり完成させた「土佐校百年史」は、同窓会にとってもかけがえのない宝です。有難うございました。

## 退任・新任について

行うものです。初日は遠慮がちな生徒も後半は積極的に発信できるようになりました。【大学進学】は、東大5名、京大8名、阪大10名、早稲田22名、慶応9名、医学部医学科32名と例年どおりの成果をあげています。他にもたくさん行事がありました。紙面の都合上ご容赦ください。この記事が、同窓会の皆様の思い出喚起になれば幸いです。



● 合格の状況 ●

Table with 5 columns: 国立大学, 現, 過, 計, 進学. Lists various national universities and their statistics.

Table with 5 columns: 私立大学, 現, 過, 計, 進学. Lists various private universities and their statistics.

Table with 5 columns: 私立大学, 現, 過, 計, 進学. Continues the list of private universities and their statistics.

Table with 5 columns: 私立大学, 現, 過, 計, 進学. Continues the list of private universities and their statistics.

Table with 5 columns: 私立大学, 現, 過, 計, 進学. Summary table for private universities.

Table with 5 columns: 公立大学, 現, 過, 計, 進学. Summary table for public universities.

Table with 5 columns: 準大学・その他, 現, 過, 計. Summary table for other institutions.

2023年度大学入試総括

進路部長 藤岡 優太 (58回生)



◆2023年度入試を振り返って◆
共通テストも3年目。穏やかだった初年度。そして、数学I・Aの平均点が30点台(37.96点)になるなど「あり得ない試験」となった2年目。今回の試験はどうなるのか。注目された3年目の試験でしたが、総合平均の上では過去2回の中間に位置する試験となり、全体的には、昨年より落ち着いた形となりました。ただ、理科②で得点調整が実施されるなど、正直まだまだ落ち着かない試験となっています。また、昨年と比べると点数は上昇しているものの、センター試験と比べ高得点の取りにくい共通テストは受験生にとっては「やっかいな試験」になっていると思います。

立大学合格数150、合格率87.3%に続いて立派な成績を修めてくれました。直近5年間(97~93回)の合格数・合格率の推移「150↑108↑146↑134↑119」【87.3%↑72.9%↑80.9%↑77.0%↑68.8%】をみると、毎年、高い数値を維持していることがわかります。
また、難関大に関しても、東京大5名(現役4名)、京大8名(現役6名)、大阪大10名(現役8名)と成果をあげました。現役の東大+京大の合格数が2ヶタとなるのは87回生以来のことです。(81回から87回の現役の東大+京大の合格数は12↓15↓16↓10↓7↓11↓10)。また、国立大医学部医学科の合格数は21名(現役12名)とやや少なかったものの、京大医学部医学科2名(現役1名)は見事です。
以下、重複する部分もありますが2023年度入試結果の抜粋です。

- ◆現役国立大合格数◆
138 昨年150 一昨年108
◆現役私立大合格数◆
463 昨年465 一昨年373
◆国立大医学部医学科◆
21名(現役12名+既卒9名)
◆難関国立大(旧7帝大・神戸・橋東)◆
40名(現役33名+既卒7名)
◆東大・京大◆
東京大・5名(現役4名+既卒1名)
昨年7名(現役3名+既卒4名)
京大・8名(現役6名+既卒2名)
昨年4名(現役3名+既卒1名)
◆2024年度入試に向けて◆
現高2からの新課程入試を控える2024年度入試。全国的に、安全志向の強まりが予想されますが、9月に行った第2回志望調査での現高3(99回生)の志望はほぼ例年通りの志望となつています。新課程入試を意識しすぎず、弱気にならず、第一志望合格を目指して最後まで頑張つて欲しいと思います。

# 心に残ることばたち

## 「四五年のエピソード選」

第九代 校長 小村 彰 (49回生)



在職中は大変お世話になり、ありがとうございます。今は西宮市で暮らしています。執筆の機会をいただきましたので、在職四五年の中で、記憶に残る「ことば」とそれにまつわるエピソードの中から、いくつか選んでみました。

先生、先生く(家)がぼんぼん燃えちゃうとー」と叫ぶ。自転車で学校を飛び出し、潮江橋までくると、高知駅の裏の方に立ち上る黒煙。このことばと黒煙は未だに記憶に残る。

### 「笑った、笑えた」

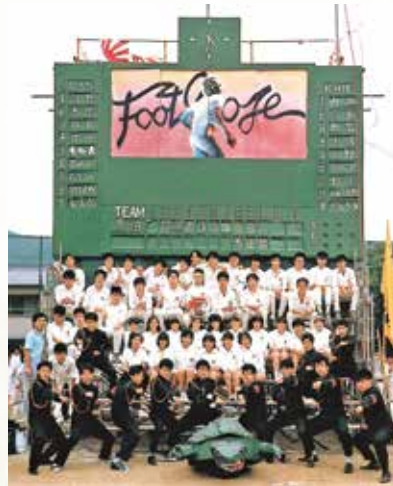
「生徒に学んだ授業」

高三「倫社」の授業。生徒自身が考えることが重要と二学期末に「卒業作文」を課す。原稿用紙二枚で合格点の所、ある男子生徒は二〇枚近く。問題行動を重ね、成績も振るわなかった高校時代をしっかりと見つめる内容に、自分の生徒の見方を反省。同じ学年の女子生徒は在学中に逝った父の記憶を心打つ文章で綴る。見舞いに行った東京の病院で父の辛い姿を見て、帰りの飛行機で泣き続けた後、学校に来てクラスメートの間にはいったとき、「笑った、笑えた」。他にも多くの印象に残ることば。後に高校の国語の先生に、この卒業作文が「自分史」に発展。

### 「かまん、やり」

「特活部生徒会担当でもいろいろと特活部で生徒会担当。生徒の希望を

抑えたり、励ましたり。五八回高三のクラスマッチは途中から激しい雨。グラウンドがぬかるむ中、競技を止めたい先生方とやりたい生徒たち。間で悩んでいたときに、当時の体育部長岡村熊長先生が一言。「かまん、やり」。



▲恒例のリム回し運動会  
▶60回生の初めての担任



### 「機嫌ようやれ」

「大先輩のぼそっと一言」

中学野球最大の大会、夏の県選手権。監督になって初めて決勝に進出したの

は六二回が中三の時。高知中との決勝を前に、緊張していた私に土佐の先輩で高知新聞運動部の檜垣典夫さんが掛けてくれたことばが「機嫌ようやれ」。県体壮行式で校長の激励の中で使う。

### 「小村やいか」

「めぐりめぐって」

バドミントン部の顧問になったのは六八回が高三の時。高二には野球とバドミントンの両方の顧問が私というかわいそうな生徒も。その弟の七一回生。県のトップを争う選手に成長したが、ラリーを続け、相手のミスを誘うプレッシャーを見て、現高知県バドミントン協会会長の松井さんが「小村やいか」と一言。私の高校時代を知っている方の思わぬ発言に苦笑。その生徒が今は西宮市で私の主治医。

「他の学校の生徒を座らせてしまったんですが…」

「六六回修学旅行」

「怒る係」を務めた二人の担任に気を遣って、同行した副主任も生徒に厳しく当たる。夜、外出先から帰ってきて、ホテルで騒いでいた生徒を見つけ、廊下に座らせたところ、他校生も一緒にしたことに気づいた若い先生が、床に入っていた私にこっそり告げた言葉。何とか後始末。

### 「お腹すいた」

「七二回修学旅行(中三)」

九州を回って最終日、崩れ始めた天候の中、宿毛佐伯フェリーに乗船。次



2019ホームカミングデー総会にて

### 「先生く(家)がぼんぼん燃えちゃうとー」

「いきなりプライベートですが」

就職二年目の秋。半期試験の試験中の午後、教職員のソフトボールチームの練習をしていたとき、消防車のサイレンが聞こえはじめる、なりやまず、どこで火事かと思っていると、事務職員の方が上履きのまま、当時の保健室の横からグラウンドに出てきて、「小村

の便から欠航という悪天候。大揺れに揺れ、生徒も教員も最悪の状況。嘔吐のためにきたトイレの床に座り込む者まで。一時間近く遅れて宿毛に上陸したとき、二度と生徒を連れては船に乗らないと誓う。その船から下りて、高知に向かうバスに乗車。午後二時近くなって、ようやく昼食を配るが、ほとんどの生徒は船酔いの影響で、食べることはできず、ふたを開けるのも辛い状況。その中でただひとり「お腹すいた！」と言って完食した女子生徒。高二でインターハイに個人出場。

「こんながあるで」

〜七八回 コース別研修

七八回修学旅行は、東京に行く案を通そうと策を練る。自由行動以外に「何かする」ことが必要と思っていたところに、広島県の学校の「コース別研修」の取組みを「こんながあるで」と紹介してくれたのが同じ学年の担任の岡峯健二先生。ふたりで下見にも行ったのに、私よりも早く病氣退職。辛い闘病生活を支えていたお母様の突然死の知らせを本人から、そして二〇二二年のご本人の逝去を、面倒を見ていたいとこさんから、それぞれ聞いたときの悲嘆は今も。座布団回しが目に浮かぶ。

「ピンチヒッター」

〜岡松宏明先生

教職員との交流も、それぞれたくさんの思い出を残しているが、長い付き合いになったのは岡松先生。プライベートでも、住まいが近所で駐車場を



60回生Sホームの教室にて

借りたり、不燃ごみの収集日には顔を合わせたり、妻同士も付き合いがあったりという仲。仕事の上では「ピンチヒッター岡松」という呼び名にふさわしい、ピンチを救う働きをする方で、若いときは、主任の途中交代が必要になって担任団に入ることが続く。進路部長として大きな実績を上げた後、教頭になるが、すぐに病氣退職の教務部長のピンチヒッター。教頭として国際交流・ICTを軌道に乗せ、百年史を完成させる。多岐にわたる仕事を確実にやり遂げる、なくてはならない存在だった。

「これから大変ですね」

〜新校舎建築に向かつて

遠い先のことを考えていた新校舎建築が突然現実のものとなった二〇〇三年九月三日の校長室での学校・振興会・同窓会役員会の会。帰り際に振興会長から掛けられた「これから大変ですね」のことは、その後現実に。

「没収します」

〜あ甲子園

教頭三年目。二十一世紀枠で選抜甲子園出場。久しぶりのことで応援の段取りも手探り。バス四〇台で乗り込み、昔と同様に球場外でアルプス席のチケットを配布。しかし、応援人数の多さを警戒してか、高野連と球場関係者がつきつきりで監視。応援グッズは事前申込をした者以外には配布禁止とのこととで、スタンドで配布予定だった数百枚のマフラータオルは「没収します」。試合終了後、大会本部に向き、頭を下げて戻してもらおう。そんな学校が最優秀応援団賞！

「やらんとできんき」

〜教育長の決断

コロナ二年目。前年度は中止になった全国総体が開催されることになり、その予選となる高校県体が近づいた四月下旬、県内高校の運動部でクラスターが発生。県体の開催が危ぶまれる状況になる。県教委は開催のために参加選手・顧問に抗原検査を義務づけるという決定。それまで医療機関以外ではほとんど行っておらず、陽性になれば家族も厳しい行動制限が課されるため、不安が広がる。臨時の校長会で説明を受けるが、生徒・教員の不安が大きいことを直接伝えるべく、県教育長に電話。土佐の部活で一緒だったこともあり、普段は軽口をたたきあう仲だが、このときばかりは切羽詰まった厳しい口調で「(検査を)やらんと(県体が)できんき」と一言。その言葉で、

自分も腹を決め、教職員と生徒に協力をお願いすることにする。

「他の人のためならがんばれる」

〜百周年記念講演で村木さん

校長就任以来、土佐の育てようとする「人材」を「まわりを照らす人」と表現してきたが、百周年の記念講演で同級の村木厚子さんが、自らの体験に重ね、「自分のためだけではがんばれない、周りの人のためと思うからがんばれる」と話してくれる。同じ思い。

「残っていました」

〜最後までミス

二〇二三年三月三十一日午後五時、学校を去るとき、いつになく念入りに後片付けをし、残したものが無いよう確かめて玄関に向かう。何人もの先生、事務職の皆さんが見送ってくれ、胸がいっぱいになりながら外に出る。数日経って、履いていた上履きを、自分の靴箱に入れたままではないかと心配になり、学校に電話。確かめてくれた事務の方が「残っていました」。こっそり処分をお願いしたが、やっぱり最後までミスと抜かりの多い教員人生。



最後の卒業式  
(98回生 2023.1.31)

# 香川支部総会に

## 参加して

幹事長 矢野公士(62回生)

令和5年7月1日(土)午後6時から、香川支部総会、懇親会が開催されました。学校からは濱田校長、同窓会本部からは西山会長と私、各支部からも役員の皆様が参加され、40名程の同窓生が集いました。

香川支部では、令和元年7月に開催してから、コロナ禍になり開催を見合わせており、今回は4年ぶりの開催となりました。香川支部の総会は、「七夕総会」と言われ、毎年7月にサンポート高松のシンボルタワーにて開催されてきましたが、シンボルタワー内の業者がコロナで廃業したようで、今回は会場をレグザムホール(香川県県民ホール)6階レストラン「シレーニ」に移しての開催となりました。

会場からは高松城跡の緑や瀬戸内の穏やかな海も望め、また、4年ぶり開催を祝福するかのよう、朝から降り続いていた雨も上がっていました。総会では、大黒英男支部長から、新しい支部長として服部哲郎支部長(43回生)が選任されました。4年ぶりの開催ということで、参加されていた皆さんも、「生きとったか(笑)」などの会話も聞かれ、4年ぶり開催の嬉しい笑顔が会場のあちこちで見られました。

### 同窓会本部支部行事

- ★香川支部総会 7月1日(土) 場所:レグザムホール
- ★2023ホームカミングデー 8月12日(土) 場所:ザ クラウンパレス新阪急高知/14時~21時
- ★東海支部懇親会 9月16日(土) 場所:木曾路 名駅IMAIビル店 B1F/17時~ 懇親会
- ★関東支部総会 9月30日(土) 場所:日本プレスセンター10階ホール/11時~16時
- ★広島支部総会 10月7日(土) 場所:リーガロイヤルホテル広島32Fエメラルド/16時~20時
- ★徳島支部総会 11月25日(土) 場所:ザ グランドパレス徳島/18時~21時
- ★高知若手会主催 2023先輩後輩交流会 10月28日(土) /18時30分~20時40分 場所:ザ クラウンパレス新阪急高知 4階フロア ゲストトーク「意外と知らない海苔の世界」岩崎智哉さん(87回生)
- ★土佐中高同窓会関東支部~学生・若手社会人交流会~IN 2023 11月11日(土)/16時~ 場所:東京大学駒場キャンパス生協食堂2階 Dining銀杏 講演「宇宙を目指して-企業化の道のりと挑戦」浅川 純さん(85回生)
- ★はちきん会 11月11日(土)/11時30分~ 会場:銀座 DAZZLE(ダズル) 講演者 菱山美希さん(73回生) 弁護士資格と歯科医師資格をお持ちのスーパー才媛

# チーム陽 最後の演舞

最高の夏を、ありがとう

陽(18期生)代表 藤田 真緒(96回生)

私は今年、忘れられない夏を経験した。チーム陽は、2006年に初出場して以来、今年の15回目の出場をもって終わりを迎えた。去年の春に代表を引き継いでからの道は決して楽ではなかったが、それでもやり遂げることができたのは、参加したいと思ってくれた31人がいたからである。

地方車の上から見た、一条乱れぬ隊列、沿道の観客、みんなの顔は、とても輝いていた。それを見た時、「やってよかった」と心の底から思った。有終の美を梅の辻で飾り、最後の

挨拶をした時の感情は、満足感だけではない表せない、経験したことのない感情だった。

私はこの夏見た景色を忘れることはないだろう。改めて協賛やその他多くの形で手助けして下さった皆様に感謝を述べるとともに、参加してくれた踊り子、そして何より、ここまで支えてくれたスタッフに一番の感謝を伝えたい。

最高の夏を、ありがとう。



### 編集後記

今年はやっと各支部総会が開かれるようになり、アフターコロナを実感。本部・関東での若手会やはちきん会なども、再始動。同窓会に活気が戻ってきました。かつて当たり前だった「直接人と会い、語り合う」ことの素晴らしさ!まさに宝物のように感じます。副会長 北村恵美子(47回生)

### 母校/同窓会本部/各支部

- 土佐中学・高等学校 事務 千頭裕 〒780-8014 高知市塩屋崎町1-1-10 (TEL) 088-833-4394 (FAX) 088-833-7373 (E-mail) tosa@tosa.ed.jp (HP) http://www.tosa.ed.jp
- 土佐中学・高等学校同窓会本部 会計幹事 千頭裕 〒780-8014 高知市塩屋崎町1-1-10 (TEL) 088-833-4394 (FAX) 088-833-7373 (E-mail) jimukyoku@tosaobog.com (HP) https://www.tosaobog.com/
- 同窓会北海道支部 事務局長 山本隆昭 〒001-0018 札幌市北区北18条西6丁目 ARTE 88-305 (TEL) 011-756-2817 (FAX) 011-756-2817 (E-mail) yamat@den.hokudai.ac.jp
- 同窓会関東支部 事務局長 浦田理有 〒104-0061 東京都中央区銀座2-14-1 森山ビル4階 中央銀座法律事務所 (TEL) 03-5565-1315 (FAX) 03-5565-1316 (E-mail) m.urata@chuoginza-law.jp (HP) http://www.tosako-kanto.org/
- 同窓会東海支部 事務局長 瀬沼憲司 〒455-0064 名古屋市中区本宮町6-7-5 フォレスト本宮602 (TEL) 052-837-5834 (E-mail) knzss@kza.biglobe.ne.jp (HP) http://tosakotokai.web.infoseek.co.jp/
- 同窓会関西支部 事務局長 藤原由親 〒541-0046 大阪府中央区平野町1丁目7番1号 堺筋高橋ビル6F 税理士法人アクセス 気付 (TEL) 080-9166-2400 (FAX) 06-6110-5419 (E-mail) y-fujiwara@act-cess.jp
- 同窓会広島支部 事務局長 大谷準一 〒734-0007 広島市南区皆実町6-3-26-902 (TEL) 082-253-5759 (FAX) 082-254-7523 (E-mail) spat56z9@vesta.ocn.ne.jp (HP) http://tosa-hiroshima.xii.jp/
- 同窓会香川支部 事務局長 野村喜久 (担当=安岡和浩) 〒760-8573 高松市丸の内2番5号 四国電力(株) (TEL) 090-4788-2143 (E-mail) yasuoqa15529@yonden.co.jp
- 同窓会徳島支部 事務局長 菊池義倫 (担当=藤坂徹) 〒770-0841 徳島市八百屋町3丁目10-2 四国銀行徳島営業部 (TEL) 088-622-4141 (FAX) 088-623-6676 (E-mail) t-fujisaka301-p@shikokubank.co.jp